

経済産業委員会

令和3年6月18日（金）

午前9時58分～午前10時05分

議会第3会議室

【出席委員】千綿正明委員長、宮崎 健副委員長、御厨洋行委員、山下伸二委員、  
野中宣明委員、重松 徹委員、山口弘展委員、川原田裕明委員、  
江頭弘美委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】なし

【案 件】

・採決、まとめについて

○千綿委員長

おはようございます。

ただいまから経済産業委員会を開催いたします。

それでは、採決に入る前に今回当委員会に付託されました議案について反対意見はございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

反対意見がないようでございますので、可決すべき議案について簡易採決を行いたいと思っておりますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

お諮りします。

当委員会に付託された第62号議案について、可決することに御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしと認めます。よって第62号議案を可決すべきものと決定しました。

以上で当委員会に付託された議案の採決を終了いたします。

次に、本会議での委員長報告についてはいかがでしょうか。

（「委員長一任」と呼ぶ者あり）

ただ一つちょっと気になったのがですね、繰越しが——僕の経験からですけど、昔はですね、繰り越すってのも結構議員さんから意見が出てましたが、何か、安易に繰越しをしている印象があるんで、委員長と正副委員長で議長に申入れをして、執行部に対して、そういったことをお願いしたほうがいいのかとちょっと思うんですが、皆さんの意見を聞いて——

○江頭委員

委員長がね、どの時代のことを言ったのか分からないけども、合併して、佐賀市域広くなったじゃないですか。災害にしても、昔と違って気候不順ですごい災害が——それで、北部の土木作業と南部のそれとは——、そして、この経済成長の——昨日執行部言ってたけど、かなり以前土木業者も淘汰されていった時代があって、構造的にどこの自治体もこういう状況じゃないかなと思うんですね。うちだけじゃないんじゃないかと。確かに安易に繰越しているのはいいとは言えないけど、その辺もね、現実というのを見たらそういうふう思ったんだけど——これは私の意見です。

○川原田委員

いくら言ったところで、業者さんたちが「やらせてください」っていうぐらいの金額にしないとだめ。仕事して従業員に給料払うのに、採算が合わない仕事をする——次の仕事の間違ひなく来る約束があるなら、1回損してでもするかもしれないけど、今はしない。繰越し繰越し繰越しにならないようにするためにはね、ある程度そこはやっていかんといかんと思う。富士建設に友達がいるけど、もうできませんよってはっきり言うもん。

○千綿委員長

一つちょっと言わなければならないのは、別にそういうものばかりじゃなかったと私は思うんですよ。例えばですよ、災害の工事だとかそういうものばかりじゃなくて、ほかのところも不調があるし、例えばそれ以外でもですよ、業者さん都合じゃなかったところもやっぱり見受けられるんですよ。結局、言わずに繰越しを全て認めるのではなく、一言くぎを刺しておかないと、その年度に、計画してやってるならばやっぱり完成したのが本来の姿だし、簡単に「不測の事態で」言われた日には、ちょっとまだ頑張るように言わないと、重しにならんわけですよ。と私は感じたので。

そればかりではないですよ。入札が不調になったり、北部の災害対策が遅くなったりだけじゃなくて、ほかのことも——政府が3月に前倒し——というのは仕方ない。それは、執行部の責任はないけれども、ただそこはちょっと重しをかけとったほうがいいのかなどという気持ちがあったんで。災害対策でとるところがないとかいうのは抜本的に考えないといけないが、それ以外で、何か簡単に繰越しができるようなイメージを持ってもらってもいけないのかなという気がしたんで、ちょっと今回皆さんにお諮りしてるところです。

委員長報告で言うとかじゃなくて、議長に正副委員長で申入れたらどうかかと。ほかの所管もあると思うんで、どうしてもしょうがないときは繰り越すっていうことを再確認してもらって意味で話をしたらどうかと思います。

○山口委員

今、土木工事のようなものがいろいろ問題になってると思うんですが、先ほどちょっと江頭委員言われた——もう災害どうこうっていうのはですよ、認めてやらんば仕方ないかなというのがあるかと思いますが、それ以外の一般の建設工事であったり、あとは繰越

しの——昨日もちよつと言ったんですけど、工業振興課はいつの予算ですって、ここまで頑張ったけど駄目やったけんが繰越しますっていう説明は納得するばってんが、何も言わずに説明するでしょ。そこがおかしいじゃないですかっていうことなんですよ。何のため報告で、議会であげなくてはいけないかといえ、そのあたりの説明をして我々が判断しなければならぬと。いつ計上した予算かも分からない。もういかにも当たり前のことのように言って、それでさらっと終わらせるという態度だけは、ちよつと改めてもらわなきゃいかんかなと思います。

○山下委員

やっていた方がいいと思うんですけど、一般論として言ってもなかなか通じないのかなっていうふうに思うんですよね。だから、例えば決算だとか繰越しするときは承認でしょうけども、そのときに具体的なことを少しピックアップしながら、こういう場合はこうしなきゃいけないっていうのは何か示さない——。私は、社会人のときは用地交渉なんかしてたんで、半年1年かかることだってあるわけで、そこら辺の事情は分かるので。本当にそれはさぼって出来なかったのか、一生懸命やったけど出来なかったのはちよつと個別の事情を見ていって——そういうことをしないとなかなかこう具体的にぴしっとならんのかなという感じはしますけども、申出させていただくこと自体は、問題ないと思う。

○千綿委員長

いいですか。いいですか。ほかにいいですか。はい。そういうことで、正副委員長で議長のほうには申し入れをしていきたいと思っております。いやいや、委員長報告については正副委員長に一任いただくということでよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

はい、ありがとうございます。

最後に、委員会の会議録が公開されることに伴いまして、委員会における字句、数字その他の整理についてお諮りします。本委員会の会議録につきましては字句数字その他の整理については、委員長に委任されたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議がないようでございますので、委員長に委任することに決定しました。

以上申してもちまして経済産業委員会を終了します。

令和 年 月 日

経済産業委員長 千 綿 正 明